

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	はびりすぼと(放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和7年12月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37名	(回答者数) 22名
○従業者評価実施期間	令和7年11月20日		～ 令和7年11月29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	少人数制なので、個別支援や小集団活動など利用児童に合わせた支援をおこなっている。	半年に一度、児童の評価を基に保護者を交えての面談を行い、具体的な支援内容は担当職員それぞれが考え決めている。支援の幅の拡がり、支援の質の向上を目指している。	定期的な支援の振り返りを行い、支援内容を見直すなど支援が一定化しないよう取り組んでいる。
2	定期的に支援の振り返りを行い、支援内容を見直すなど支援が一定化しないよう取り組んでいる。	気軽に参加でき、家族で楽しめるイベントを提供できるよう工夫しながら開催している。	面談の場以外でも、保護者からの相談や困り感を気軽に相談ができるようなイベントや交流会をおこなう。
3	事業所は全てバリアフリーで、誰でも活動しやすい構造である。	月に1回施設点検をおこない、危険箇所や修理が必要な場所がないか確認をおこなっており、万が一危険箇所があれば迅速に対応している。	事故があった際は、必ず振り返りを行い原因を究明、再発防止を意識する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団活動の時間が少ない	個々のペースを尊重しているため、集団活動ができていない。	子ども達に合わせた小集団活動を取り入れていく。
2	地域交流が少ない	プライバシー保護の観点から、地域住民の方を招待、地域のイベントに参加することが難しい。	プライバシー保護を重視しながら参加ができそうなイベントにはできるだけ参加し、地域との交流を深めています。
3	家族等が参加できる研修会の機会が少ない	離島ということもあり、センターがなく専門的な知識を持った職員と対面で交流する機会が設けにくい。	様々な職種の職員を配置し、子どもの様子を把握できるようにし、センター役割を担うような働きかけを行っている。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 はびりすばと(放課後等デイサービス)

公表日 令和8年 2月 3日

利用児童数 37名

回収数 22

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	1		1		今後も活動場所や課題を行う場所など、工夫してスペースを確保していきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	14	1		7		法定通りの職員数で対応していますが、今後は増員をしてより手厚い支援の提供ができればと考えています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	1		2		はびりすは学習室や遊戯室を含め、全てバリアフリーです。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20			2		児童に合わせた環境調整を行います。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21			1		定期的なミーティング、支援の見直しを行い、より専門性をより深めて支援をおこないます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20			2		ホームページやブログで公表している支援プログラムを基に、個々に合わせた支援も取り入れ支援を行っています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21			1		半年に一回の面談時に、自宅や学校の様子のニーズを伺うと共に評価を用いて分析し個別支援計画を作っています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20			2		放課後デイサービスのガイドラインに沿って個別支援計画の振り返りと共に保護者からの意向を確認し、目標や支援内容を設定しています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21			1		個別支援計画に則り、支援をおこなっています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	2		2		活動プログラムの選択肢を増やしていきます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	11	3	2	6		普段の生活の中で交流があります。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20	1		1		契約時に説明をおこなっています。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21	1				面談時に、個別支援計画書を基に支援内容の説明をおこなっています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20	2			毎月の開放日をとても楽しみにしています。いつもありがとうございます。	公式LINEにて研修会等の案内をしています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	21	1				ノートや対面、電話等で状況を伝えています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	14	4	1	3		月に一回、事業所開放の日を設け保護者同士の交流やきょうだい同士の交流の機会を設けています。
19 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	2		1		保護者の方やお子様からの相談や申し入れに対して、電話またはオフィシャルLINEで迅速に対応できるようなところを付けております。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	2		1		今後も利用時に気になったこと、保護者へ伝えておくべき内容に関してはすぐに情報伝達できるよう配慮をしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	21			1		HPは随時更新、業務に関する自己評価の結果も掲載しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	1		1		発生を想定した訓練を行った際は、都度オフィシャルLINEにて通知しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19	2		1		安全計画に基づいて、定期的に訓練をおこなっています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	1		1		エビベン訓練やAED訓練を定期的に行いHPに搭載しています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	1				事故や怪我等があれば必ず保護者の方へ連絡し、発生した状況等の説明をおこなっています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20	2				子ども達が安心して通えるようこころがけていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18	3		1	土曜午後からの利用は中学生がいるため、ちょっと嫌がります。通所日は前日から楽しみにしています。	利用曜日など変更の希望があればお気軽にご相談ください。
	29	事業所の支援に満足していますか。	21			1		支援に満足していただけるよう努力していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		はびりすぽと(放課後等デイサービス)			公表日	令和8年 2月 3日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		個々の対応に応じて児発室と放課後室を臨機応変に使うこともできている。 (人数が多い日も)	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	毎回行えていない。	朝礼・昼礼時に改めて支援内容や役割分担についてミーティングの時間を確保します。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	全員で行えない場合は日誌を活用したり、伝えていない職員に後日打ち合わせを行っている。不在職員には後日情報共有している。毎回行えていない。	改めて時間を設けることはしていないが、随時振り返りを行い気付いた点を共有をできています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		医療との連携はないが、これまでの経過の中で医療と関わりのある児童については保護者に聴き取りができています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	2	まだ移行した児童はいない。	現在のところ対象者がいません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2	センターなし	センターは近くにありませんが、いろんな公的機関との連携は行っています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	3	事業所としてではないが個別的に普段から交流あり。地域の他のこどもと活動は機械がないなと思いました。	全員園や学校に行っており、日々交流する機会があります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7		理事長参加。法人代表が参加。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7			研修としてではなく、保護者支援としておこなっている。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7		月に一回開放DAYを行い、交流ができています。開放DAYを設け、保護者同士の意見ができる機会がある。法人全体でバザーを行っている。0円バザーやはびりす開放DAYを開催している。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		個人情報保護のため、地域住民を招待することは難しい。	個人情報保護の観点より、地域住民の招待は難しく、実施できていません。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	1	身体拘束を行っているかどうか不明	現在のところ対象者がいません。